

2024年3月期

決算説明会

JKホールディングス(株) (9896)

代表取締役社長 青木 慶一郎

2024年 5月27日



JK Holdings Co.,Ltd.

エグゼクティブサマリー

業績

売上高	3,889	億円	前期比 4.4%減 ↓
経常利益	86	億円	前期比 15.8%減 ↓
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	億円	前期比 24.5%減 ↓

・売上高は3,889億10百万円（前年比4.4%減）と「ウッドショック」によりレコードを大きく更新した前年同期と比べても遜色のない水準となりました。

・利益面では、総合建材卸売事業及び総合建材小売事業が一定の利益を確保したのに対し、合板製造・木材加工事業の減益幅は大きく、全体でも大幅な減益となりました。

・前年比で減収減益にはなりましたが、「ウッドショック」後の諸要因を織り込んだ期初計画との比較では売上高はほぼ計画並み、利益は計画を上回る水準で着地しました。

通期計画 (期初に発表した業績予想)

売上計画	4,000	億円	計画進捗 97.2%
経常利益計画	80	億円	計画進捗 108.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益計画	50	億円	計画進捗 101.0%

配当

	2023年3月期 実績	2024年3月期 (予想)
中間配当	15 円	15 円
期末配当	25 円※	25 円(予想)
年間配当	40 円	40 円(予想)

※2023年3月期 期末配当内訳 普通配当20円、記念配当5円

業界および同業他社について

5 ページ

JKホールディングス(株)について

9 ページ

2024年3月期決算概要

13 ページ

中長期経営計画について

19 ページ

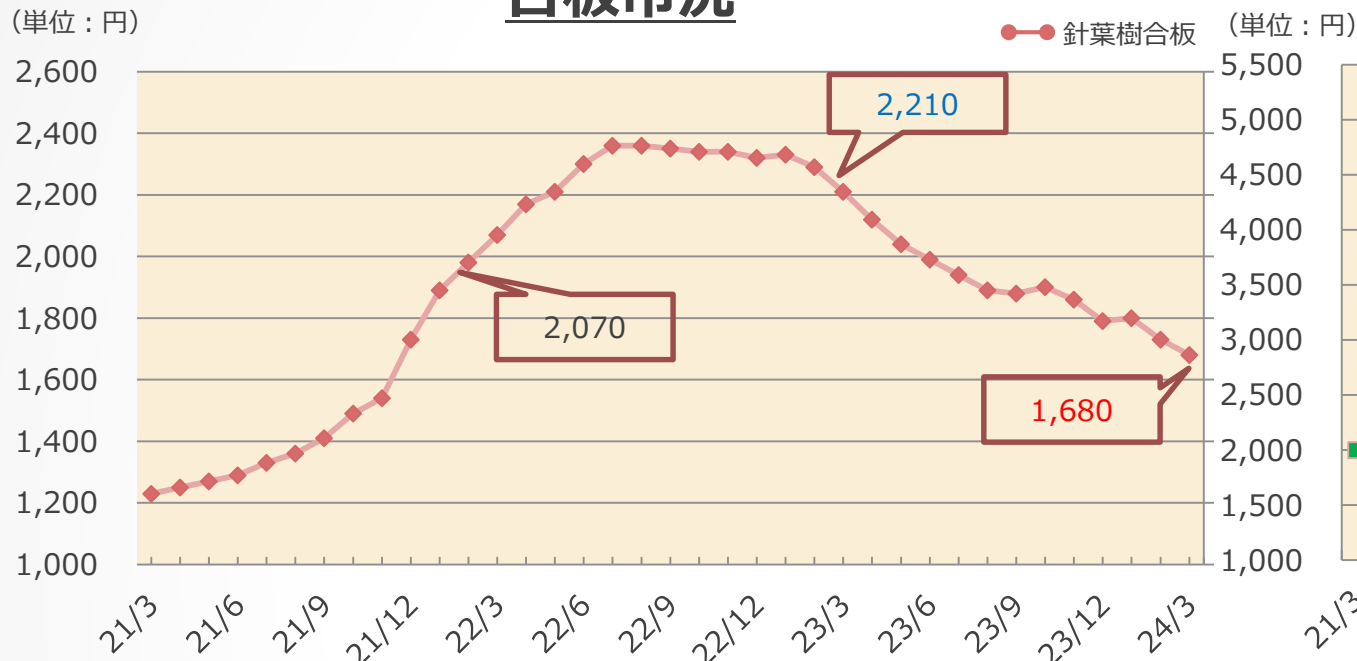
補足資料

29 ページ

業界および同業他社について

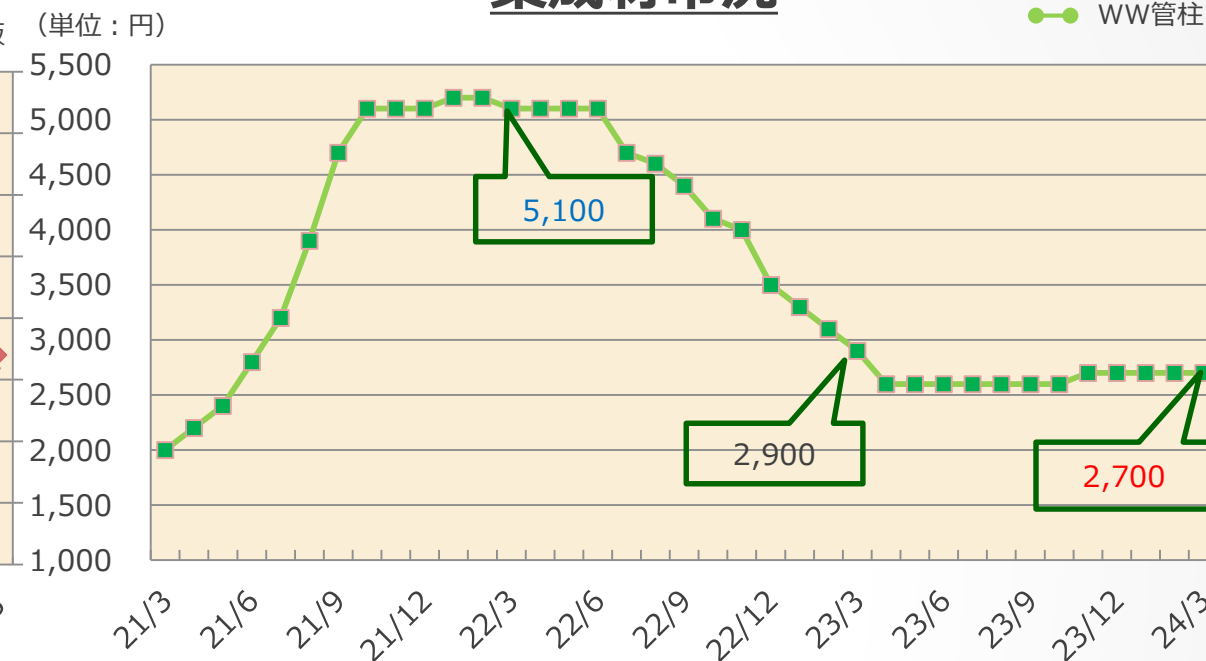
(1) 事業環境 - 合板・集成材市況と為替レート推移

合板市況



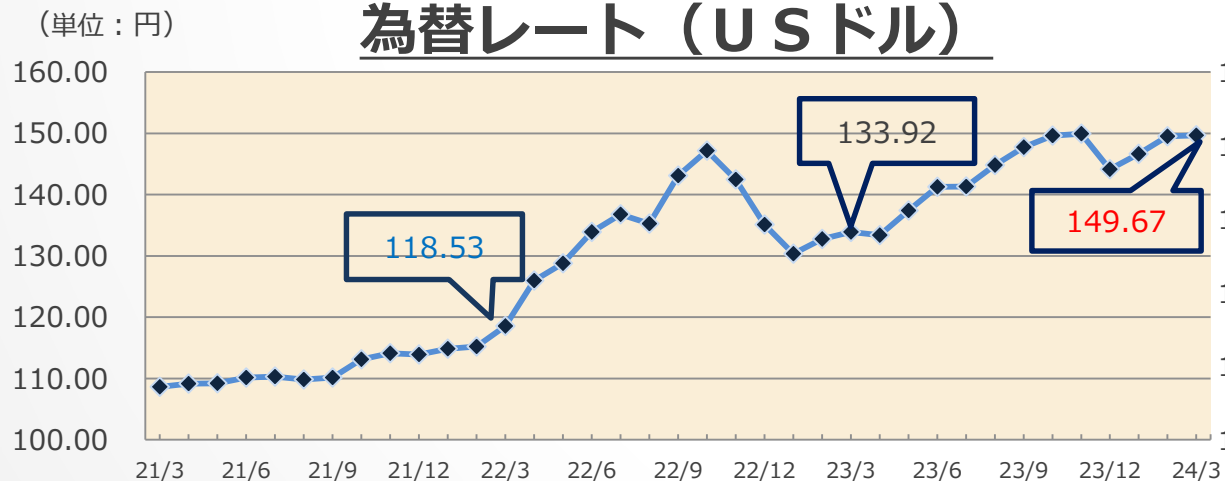
(注) 農林水産省統計 全国平均価格針葉樹合板 (厚12mm、幅910mm、長さ1820mm、1類)

集成材市況



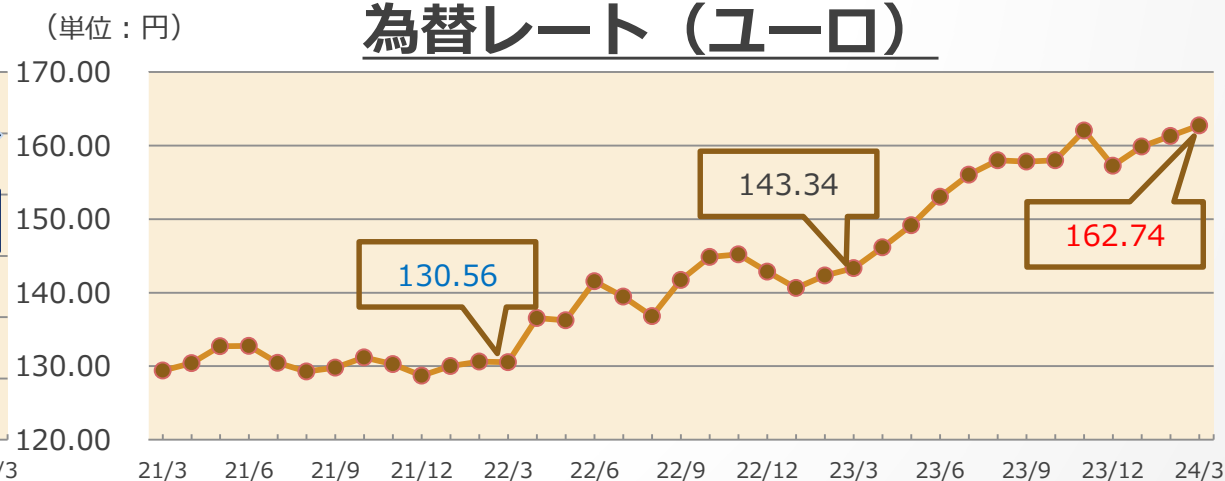
(注) 農林水産省統計 全国平均価格ホワイトウッド集成管柱 (厚105mm、幅105mm、長さ2980~3000mm、1等)

為替レート (USドル)



(注) 三菱東京UFJ銀行 公表相場TTM

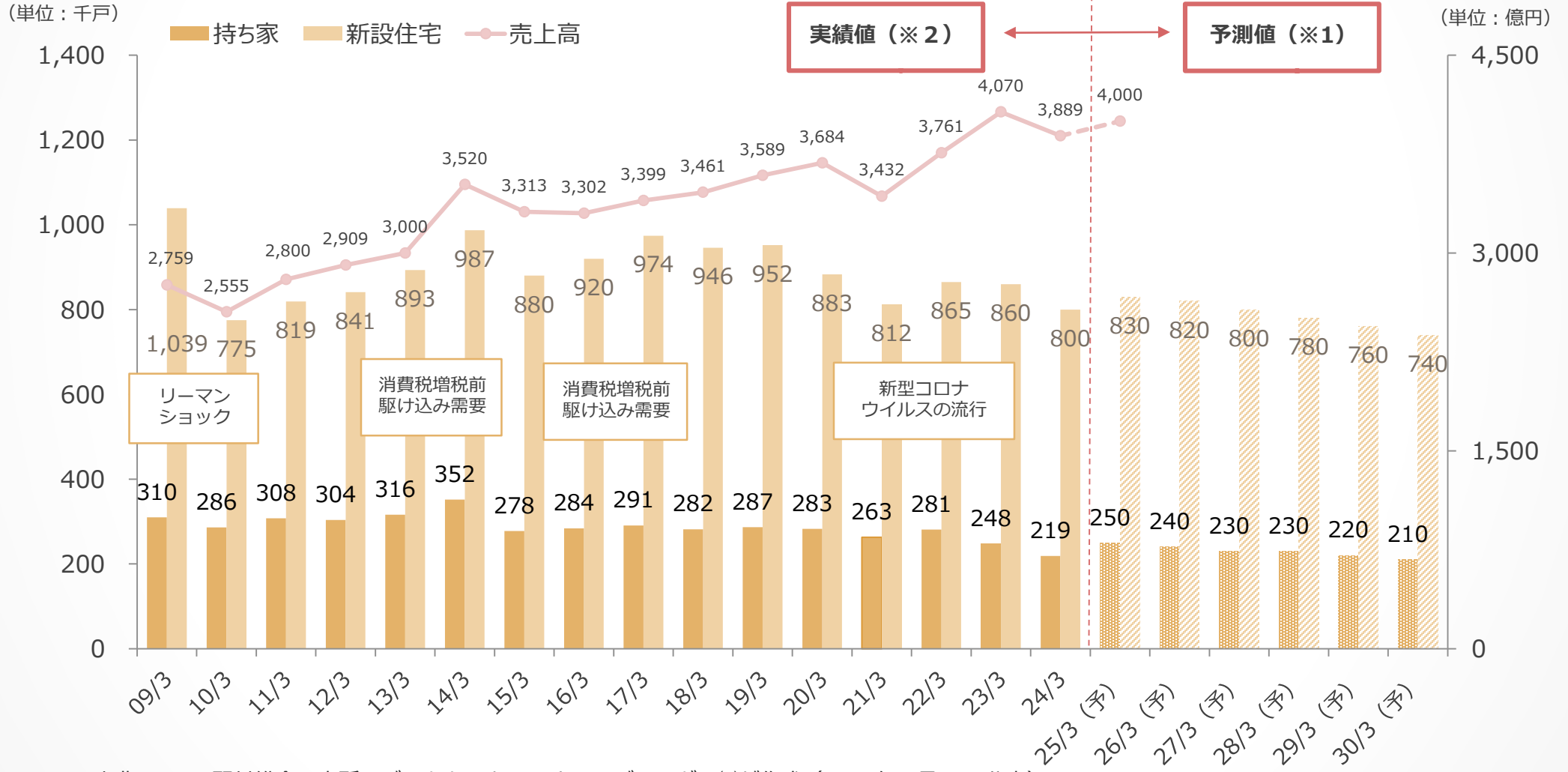
為替レート (ユーロ)



(2) 住宅着工戸数 推移

住宅着工

住宅業界では、住宅価格が高止まりしていることなどを主因に住宅需要が低迷しており、新設住宅着工戸数は前年比7.0%減少し、当社グループが主力とする持ち家では11.7%、木造では4.6%といずれも減少が続いております。

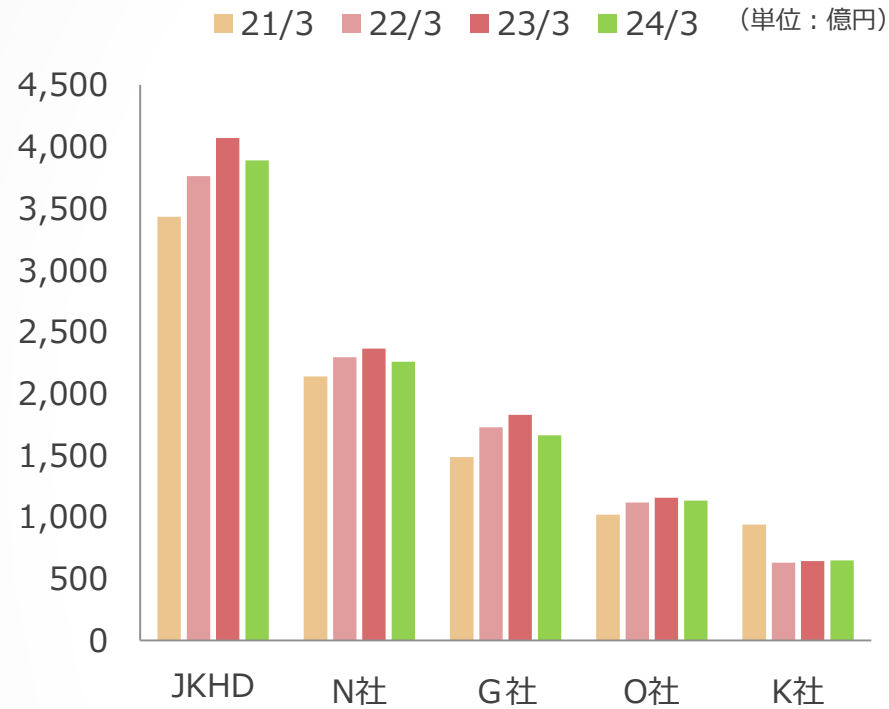


出典：※1 野村総合研究所のデータをもとにJKホールディングス(株)が作成 (2023年6月22日公表)

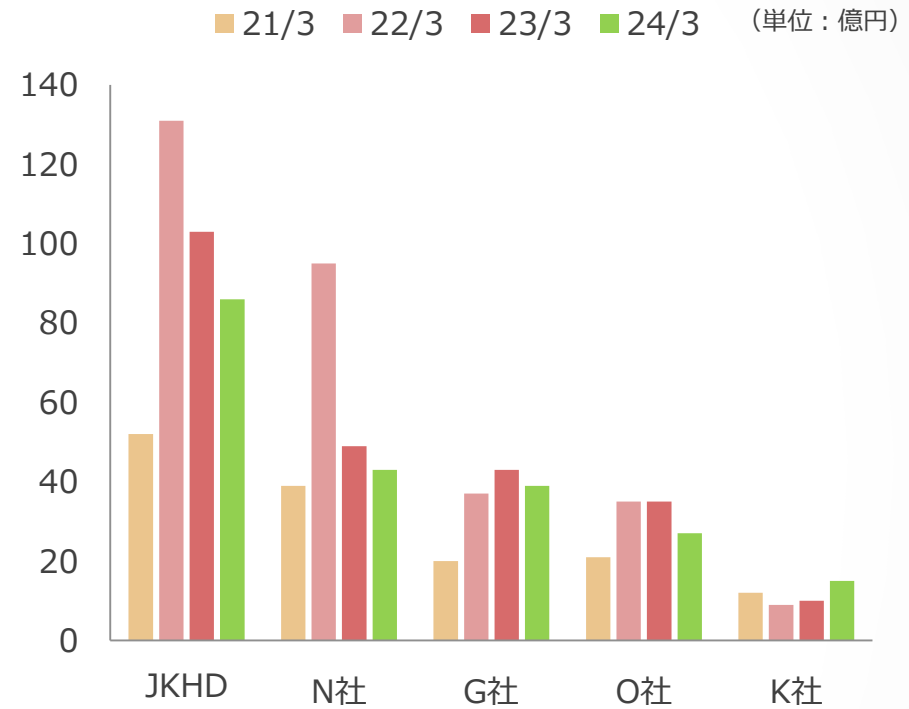
※2 国土交通省 建築着工統計調査報告

(3) 同業他社との業績比較

■ 売上高



■ 経常利益



■ 前期比較

	JKHD	N社	G社	O社	K社
売上高	▲4.4%	▲4.4%	▲9.0%	▲1.9%	0.8%
経常利益	▲15.8%	▲12.5%	▲9.7%	▲22.7%	39.2%

JKホールディングス(株)について

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

当社グループは、住宅建築資材の流通業を主要事業とし、「快適で豊かな住環境の創造」という企業理念の下、より良い住宅資材を、適正価格で、お客様の要望される場所にお届けすることを目標に、営業活動を展開しております。

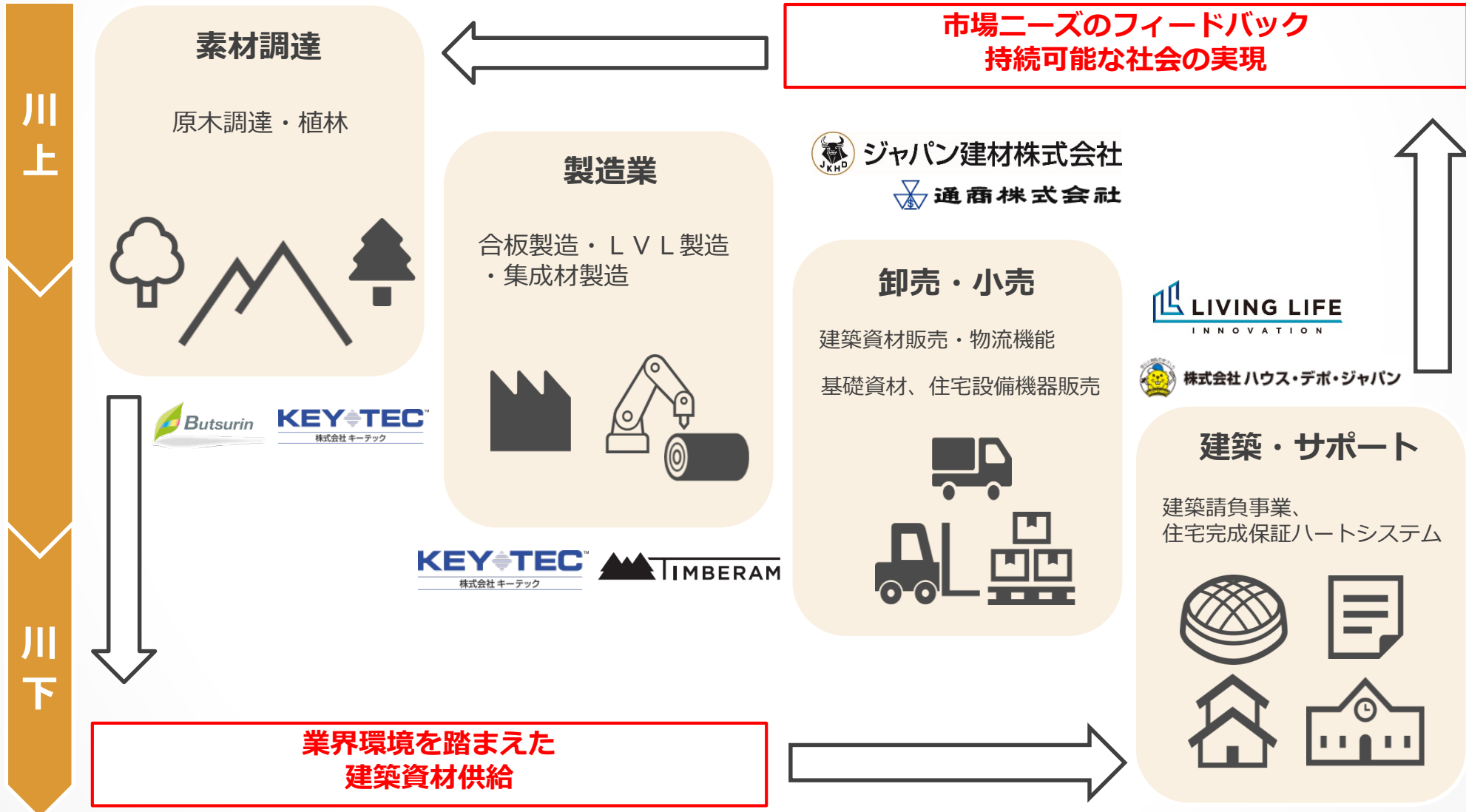
また、単にモノを販売するだけでなく、お客様に経営のノウハウを提供することで、お客様との共存共栄を図る仕組みづくりにも取り組んでおります。

基本情報（2024年3月31日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 13社 ② 合板製造・木材加工事業 7社 ③ 総合建材小売事業 16社 ④ その他 21社 計 57社
従業員数	3,368名（連結）		



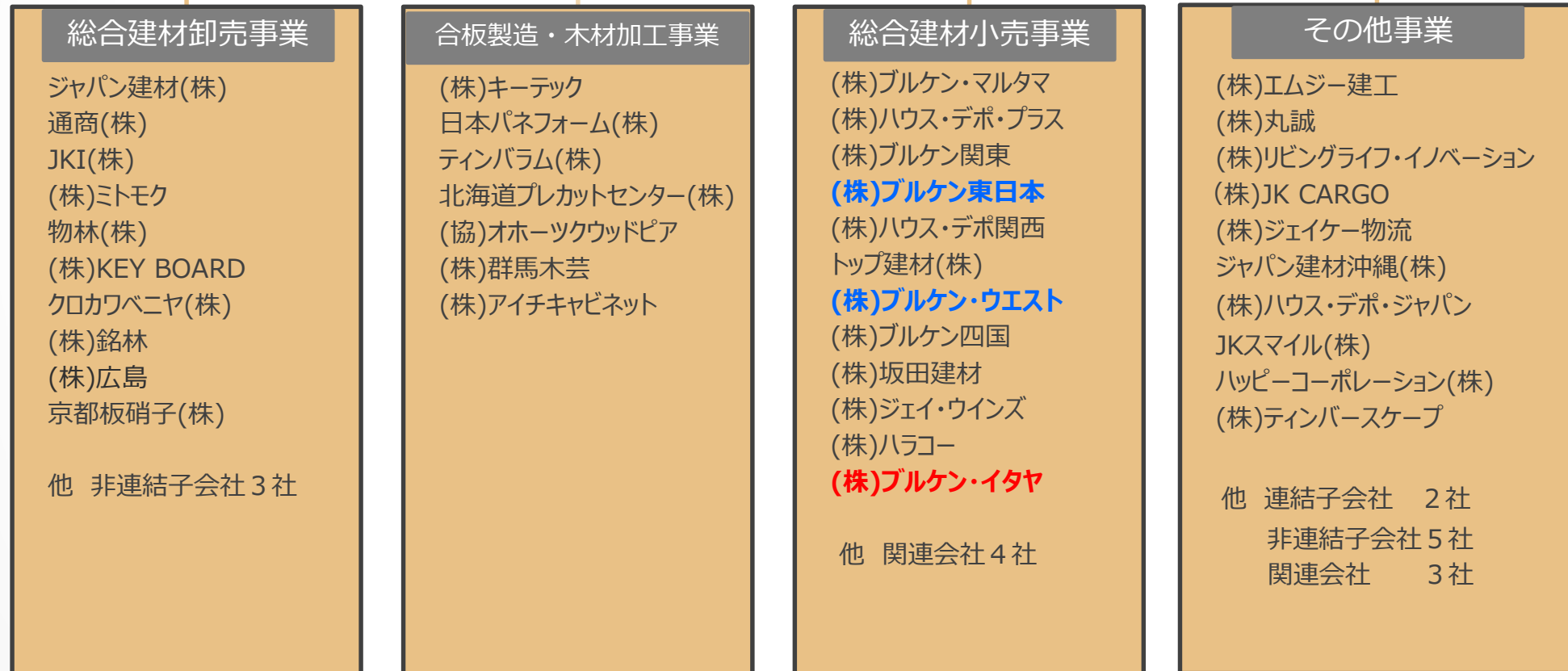
JK Holdings Co.,Ltd.



(3) グループ企業一覧

純粋持株会社であるJKホールディングス(株)の下、住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社として、住宅関連企業をグループ傘下に展開しています。

(2024年3月31日現在)



※赤文字は2024年3月期に新たにグループに加わった会社、青文字はグループ内組織再編を実施した会社です。

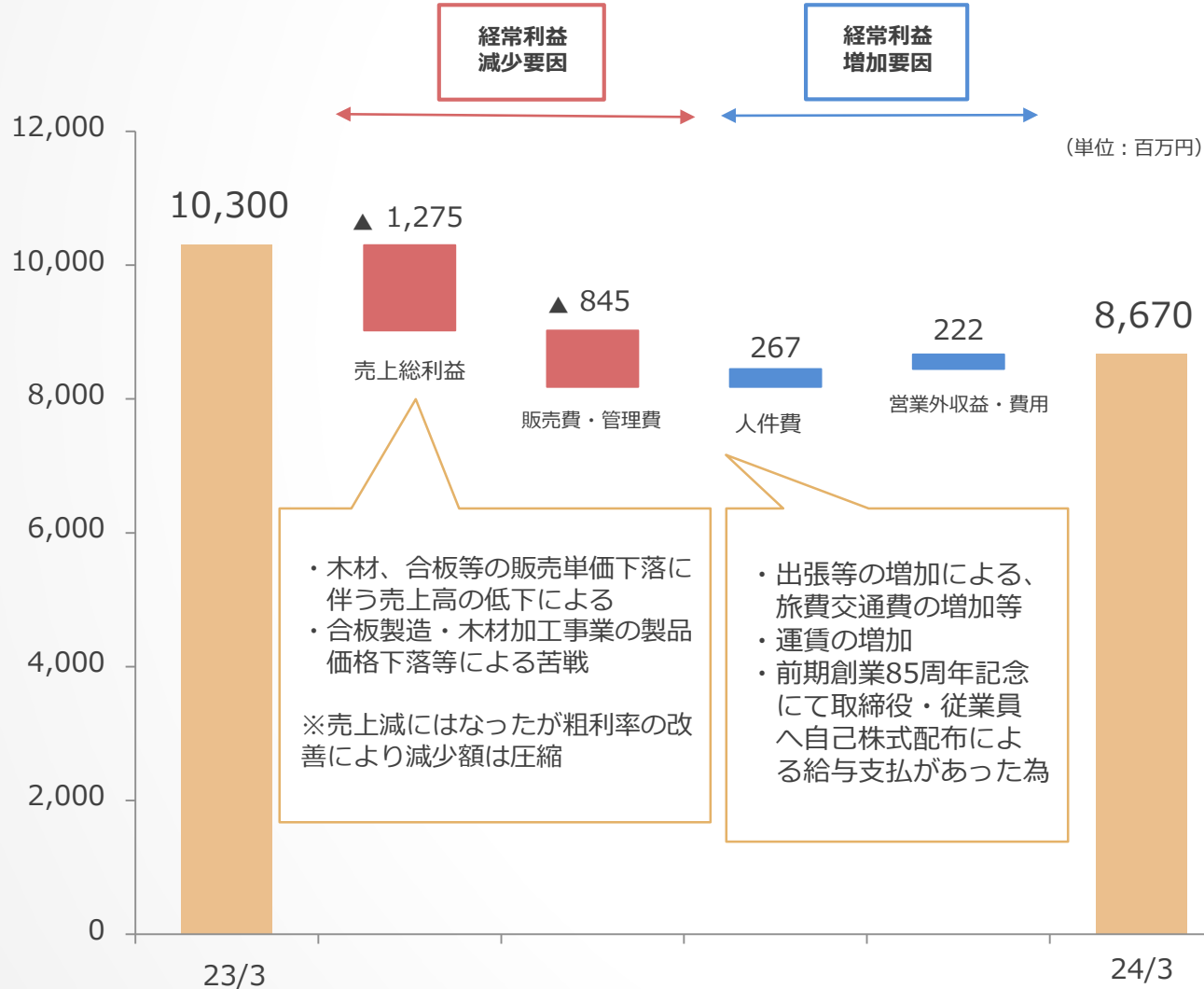
2024年3月期 決算概要

(1) 連結業績

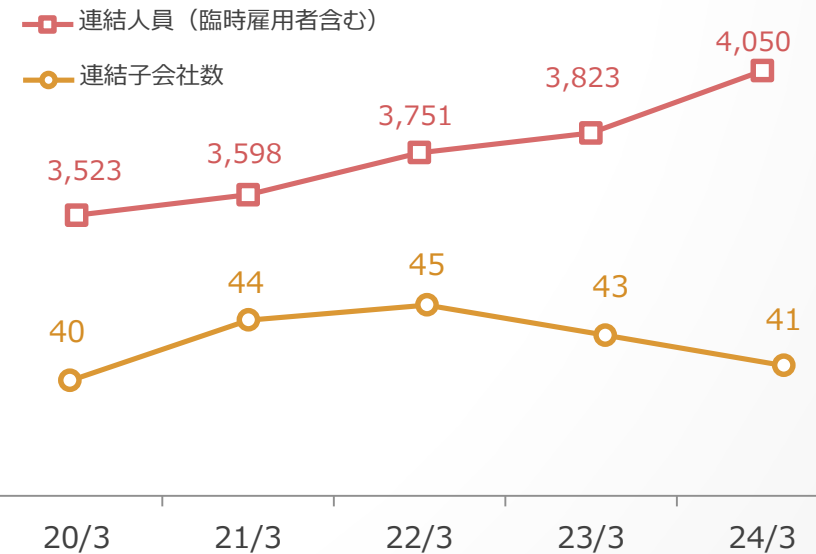
(百万円)	2024年3月期 通期計画 (期初に発表した業績予想)	2024年3月期	2023年3月期	前年比 (%)
売上高	400,000	388,910	407,022	▲4.4%
売上総利益	—	46,539	47,814	▲2.7%
(粗利率%)	—	12.0%	11.7%	
販管費	—	38,668	38,090	1.5%
営業利益	8,000	7,871	9,723	▲19.1%
経常利益	8,000	8,670	10,300	▲15.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,000	5,049	6,686	▲24.5%

(2) 利益増減分析

連結経常利益増減



	主要販管費増減内訳		
	23/3	24/3	増減比率
人件費	22,739	22,471	▲ 1.2%
販売費	8,044	8,829	9.8%
管理費	7,306	7,366	0.8%
合計	38,090	38,668	1.5%



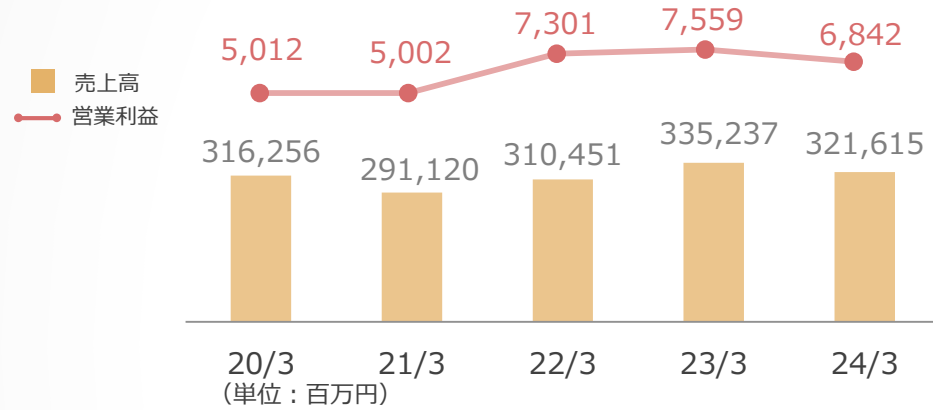
(3) キャッシュフローの状況

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前年差
営業キャッシュフロー	8,725	22,059	13,333
売上債権の増減額 (▲は増加)	1,575	2,118	543
棚卸資産の増減額 (▲は増加)	710	5,351	4,640
仕入債務の増減額 (▲は減少)	▲ 1,758	8,026	9,784
投資キャッシュフロー	721	▲ 3,832	▲ 4,554
固定資産の取得による支出	▲ 2,469	▲ 2,836	▲ 367
事業譲受による支出	–	▲ 1,258	▲ 1,258
関係会社株式の売却による収入	2,156	–	▲ 2,156
財務キャッシュフロー	▲ 5,862	▲ 4,437	1,425
長期借入れによる収入	7,530	7,034	▲ 496
長期借入金の返済による支出	▲ 9,625	▲ 9,076	548
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	15,000	12,000	▲ 3,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	▲ 16,000	▲ 12,000	4,000
自己株式の取得による支出	▲ 1,853	▲ 13	1,840
配当金の支払額	▲ 1,043	▲ 1,156	▲ 112
現金及び現金同等物の期末残高	42,378	56,168	13,789

(4) 事業別の売上高・営業利益推移

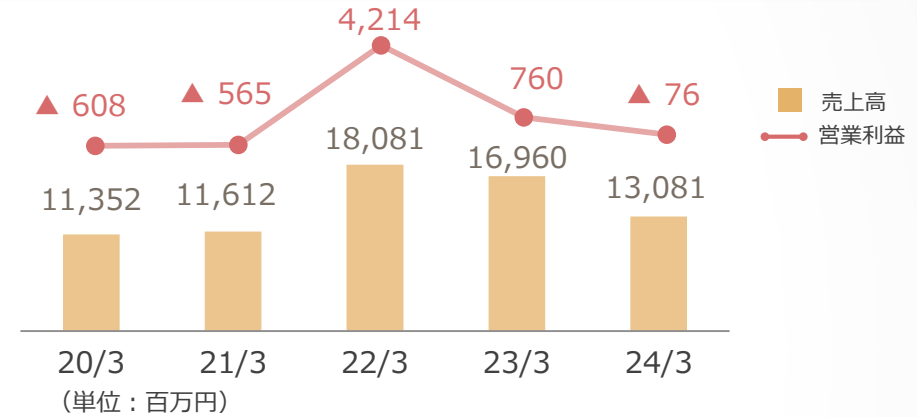
① 総合建材卸売事業

合板類は値下がりましたが、「ウッドショック」の反動から値下がりが続いた木材は底打ちしました。中核のジャパン建材(株)をはじめ、売上のボリュームと適正な利益の確保に努めましたが、大幅な増収増益となった前年同期との比較では若干見劣りする結果となりました。



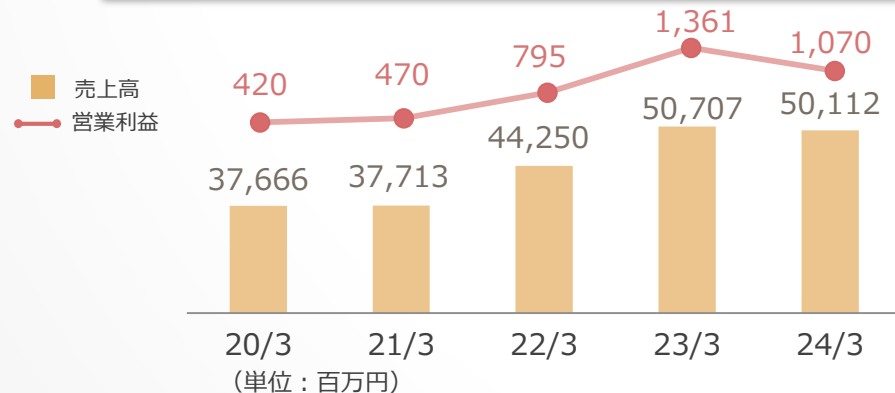
② 合板製造・木材加工事業

中核を占める(株)キーテックは、キーラム事業の苦戦および国産合板も販売量は維持するも、販売価格の下落により減収減益となりました。ティンバラム(株)は、製品価格下落により厳しい状況が続いていますが、在庫を前期の半分程度に圧縮するなど業績改善に向け、企業努力を継続しております。

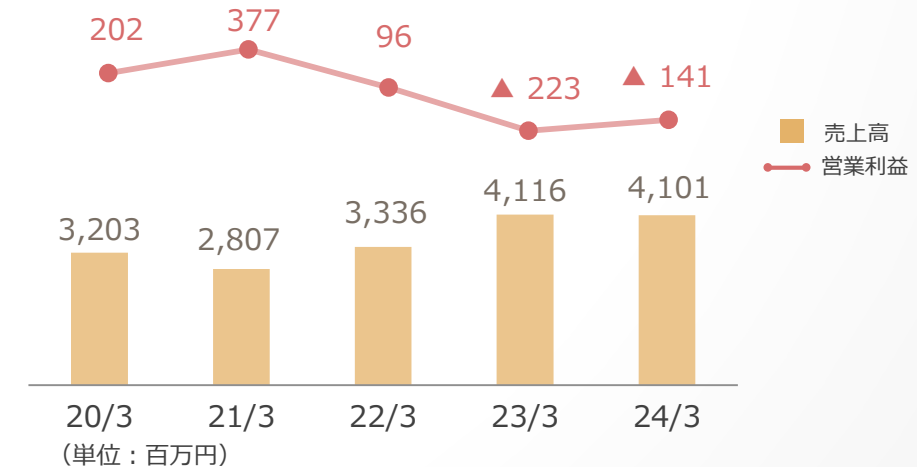


③ 総合建材小売事業

当期、(株)長谷川建材を(株)ブルケン東日本に、(株)タムラ建材および(有)原口建材店を(株)ブルケン・ウエストに吸収合併を行い、9月には新潟地盤の(株)イタヤ等から事業を譲り受けました。業界環境に応じた組織再編等を適宜実施し、グループのネットワークをダイナミックに拡大しております。



④ その他

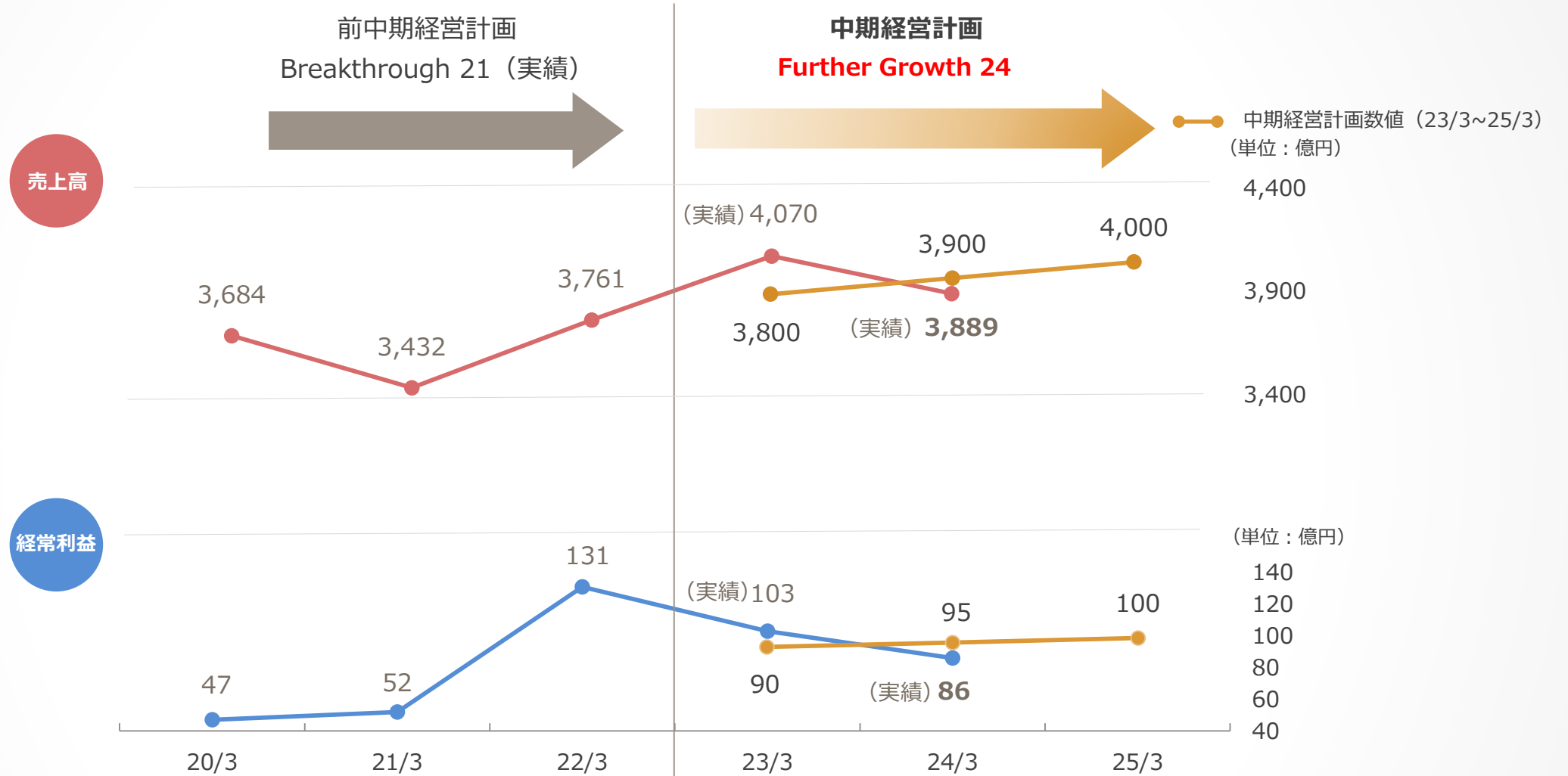


(5) バランスシートの状況

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減
資産	225,408	234,564	9,156
現金及び預金	42,897	56,666	13,768
売上債権及び契約資産	88,368	86,316	▲ 2,051
棚卸資産	21,747	16,691	▲ 5,056
固定資産	69,802	72,397	2,594
負債	167,510	171,456	3,946
仕入債務	109,030	117,156	8,125
有利子負債	41,122	38,318	▲ 2,804
自己資本	56,036	61,043	5,006
その他有価証券評価差額金	1,312	1,947	635
(自己資本比率%)	24.9 %	26.0 %	

中長期経営計画について

(1) 中期目標 – 売上高と経常利益



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年3月期以降の各数値(実績・計画)については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。



重点施策

- 次世代人材育成
- ダイバーシティ・インクルージョン推進
- ポートフォリオマネジメント
- グループ共通基盤の構築を目指したIT投資
- コーポレートガバナンス、コンプライアンス強化

主な取組内容

■ ダイバーシティ・インクルージョン推進

- 2030年度までに女性管理職の比率を3.0%にすることを目標とし、女性管理職の積極登用を行う
- **ダイバーシティ・インクルージョン推進課 (D & I 推進課) の新設 (2023年10月より)**
女性・シニア・外国人・障がい者等の多様な人材を受け入れ、より活躍できる組織へ

■ グループ共通基盤の構築を目指したIT投資

- ジャパン建材(株)に続き、JKHDグループ小売業に販売管理システム『ASview』を導入し、グループ内取引における業務負担・管理コストの軽減、取引先との迅速な情報共有を目指す

■ コーポレートガバナンス、コンプライアンス強化

- JKHDグループ会社、管理職を対象とするコンプライアンス研修を実施
- **経営に関する意思決定の迅速化と取締役会における監督機能のさらなる強化を目的とし、「監査等委員会設置会社」へ移行**
- **取締役会の下部組織として、「経営会議」を新設**
- **2023年10月20日よりスタンダード市場へ移行**
- **株式報酬の導入および役員退職慰労金制度の廃止 (2024年6月26日開催予定の定時株主総会にて付議)**

※赤文字は2024年3月期の取り組み事項



重点施策

- DXを活用した物流効率化
- M&A、事業承継を通じた拠点整備
- 取引先様へのサービス深化、高度化

主な取組内容

■ DXを活用した物流効率化

- 中核会社であるジャパン建材(株)内にて「物流最適化」を実施すべくプロジェクトチームを発足し、他社との協業を含め、当社グループにおける最適な物流網を構築していく

■ M&A、事業承継を通じた拠点整備

- (株)協和 (愛媛県今治市)、(株)ブルケン前橋銘木 (群馬県前橋市)、(有)原口建材店 (熊本県玉名市) の株式取得
- (株)東洋住建 (山形県寒河江市)、日新電機(株) (東京都江戸川区)、
(株)イタヤおよび(有)コスモランバー (新潟県南蒲原郡)、
LMIグループ(株) (東集事業) からの事業譲受 (詳細23p)
- 建材小売子会社の再編 (2023年4月)
(株)ブルケン東日本 ((株)長谷川建材との合併)
(株)ブルケン・ウエスト ((株)タムラ建材、(有)原口建材店との合併)

※赤文字は2024年3月期の取り組み事項

2024年2月29日付で、(株)銘林は、LMIグループ(株)の建築資材販売を行う東集事業を譲受し、TOSHUグループとして4営業所を開設。建築資材販売事業の拠点拡充によるグループ全体の企業価値の向上を図ります。

TOSHUグループ

事業内容：建築資材販売事業

拠点数：関東4拠点



(株)銘林 TOSHUグループ/江東営業所

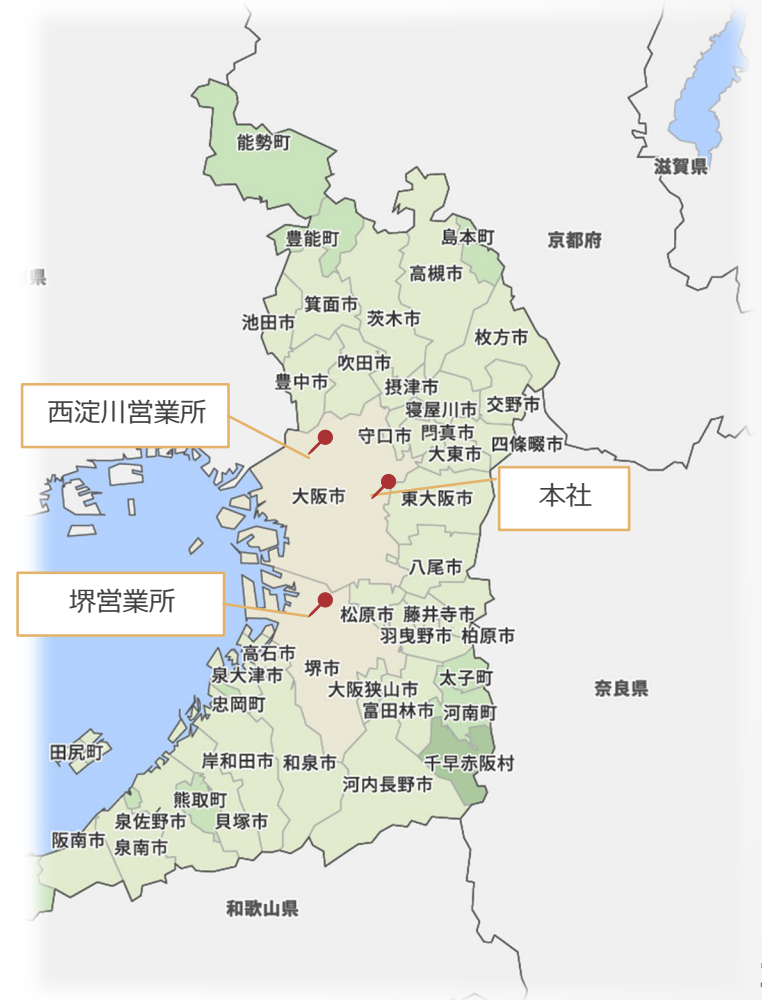
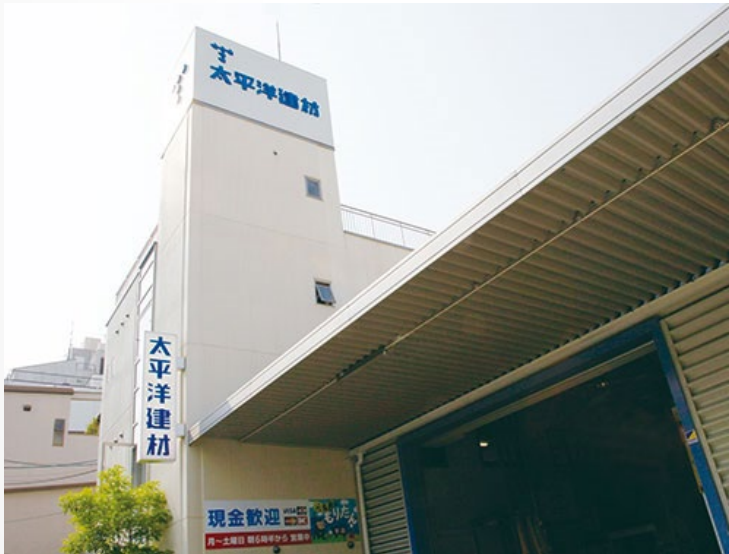


2024年5月31日付でJKHDにて太平洋建材(株)の株式取得を行う予定。大阪府を中心に、内装材・外壁材の販売事業を営んでおり、当社グループの関西地区における基盤が拡充され、グループ全体で更なるサービスの提供が可能と考えております。

太平洋建材(株)

事業内容：内装材・外壁材の販売事業

拠点数：大阪3拠点



(太平洋建材(株) 本社/工具ショップ「元氣島のもりたん」)



重点施策

- ・ 循環型社会の構築に向けた取り組み
- ・ 職人不足、高齢化への対応
- ・ 後継者不在、経営者高齢化へのサポート

主な取組内容

- ・ 循環型社会の構築に向けた取り組み
 - サステナビリティ委員会の取り組み
 - ・ 気候変動リスク・機会に対する当社戦略の策定
 - ・ GHG排出量の削減目標の設定と進捗管理
 - ・ **ジャパン建材(株)において、より効率的な独自の環境マネジメントシステム (EMS) を構築**
 - **ジャパン建材(株)において、プライベートブランドの「J-GREEN製品」、「森林認証材」の販売先への伝票 (納品書等) に「炭素貯蔵量」を表示 (詳細27 p)**
 - **CO2削減の取り組みとして、物林(株)において森林のJ-クレジット売買のサポート業務を展開**

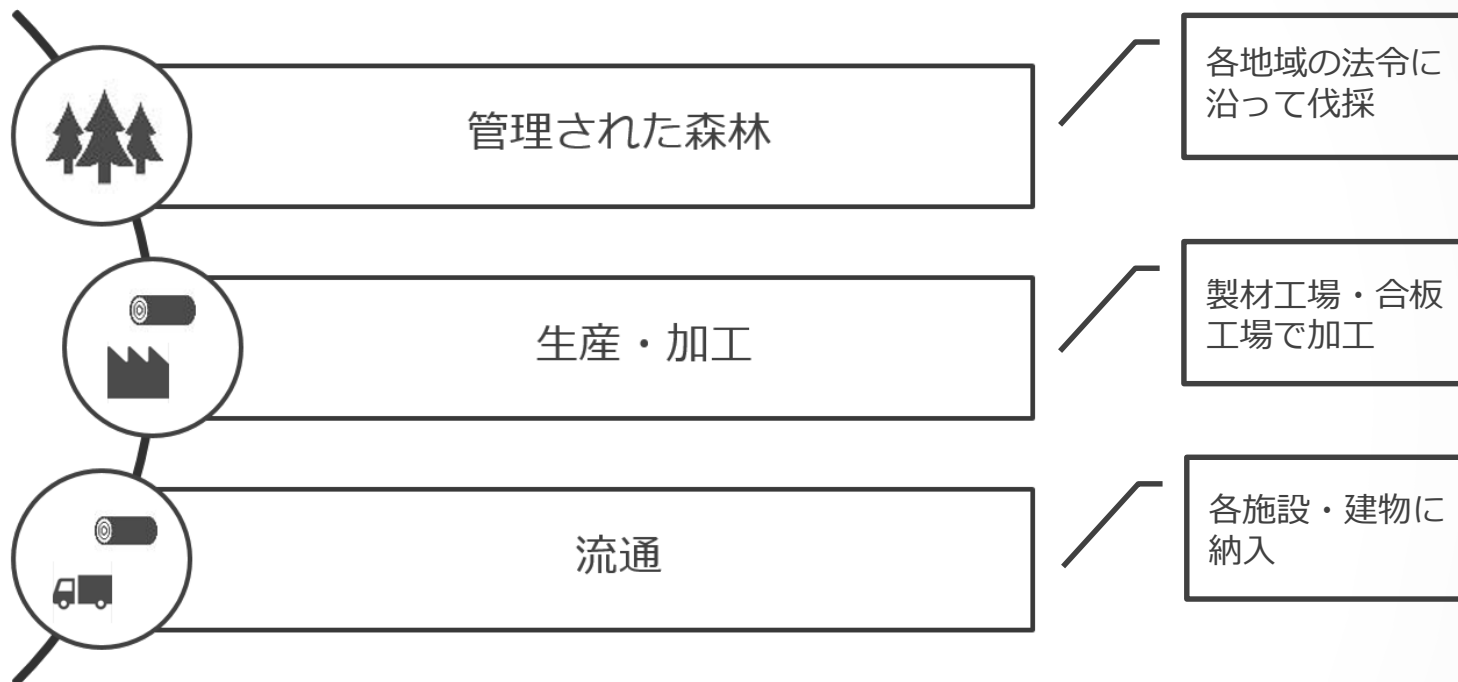
※赤文字は2024年3月期の取り組み事項



ジャパン建材(株)は合板・木材製品のエコブランド、プライベートブランドの「J-GREEN」事業を開始しました。合法性等に配慮した製品、環境に優しい製品を選定し、国内外での普及に向けて取り組んでまいります。



- ・ 供給販売
- ・ 企画提案
- ・ 普及活動




(百万円)	2024年3月期
売上高	3,665
合板	3,044
木材	621

ジャパン建材(株)は、環境貢献度の“見える化”の一環として、J-GREEN製品および森林認証材の炭素貯蔵量を伝票等に表示しています。

商品ごとの炭素貯蔵量を表示することで、環境貢献度を、目に見える形で分かりやすく、お客様と共有します。

《炭素貯蔵量の表示例》

【2】送り状



ジャパン建材(株) 新木場営業所 御中

現場名
 納入先 ジャパン建材(株) 新木場営業所
 住所 東京都江東区新木場3-7-14
 TEL 03-3521-6811

出荷日：2023年11月24日

〒136-8405 木質素材一課
 東京都江東区新木場1-7-22
 新木場タワー11F
 TEL 03-5534-3733 FAX 03-5534-3786
 担当者 社内間 木質素材一課

オーダー No. JA00035187
 出荷No. : 2300000349
 001-90074-01

行	商品番号 / 商品名	数量	入数	備考
1	JG81-JGSPTSF41236ALSUGIMITJ J-GREEN 構造用合板特類2級F☆☆☆☆ 針葉樹 全層国産杉 [19.5kg-CO2]	100.00 枚	1	継送
2	JG83-JGOPT1G1F41236FCTCFSC100 J-GREEN 普通合板1類1等F☆☆☆☆ ファルカタ複合 FSC190%	100.00 枚		
3	JG81-JGOPT1AF405536HKFSCMIX J-GREEN 普通合板 1類 A F☆☆☆☆ 桧 ノダ FSCMIXCREDIT	100.00 枚		
4	JGMG-JGWWKDSOA301052985HPEFC70 J-GREEN ホワイトウッド KD SOLID A 70 % PEFC 認証	235.00 本		
5	JGMA-JGHINKDS01051054000H J-GREEN ヒノキ KD 無垢	60.00 本		
6	JGMA-JSGEWMKB249101820M J-GREEN スギ ムクボード 巾ハギ材	25.00 枚		

商品1単位あたりの炭素貯蔵量を表示しています。

明細1行目の針葉樹構造用合板では、
1枚あたりの炭素貯蔵量が**19.5kg-CO₂**であることが示されています。

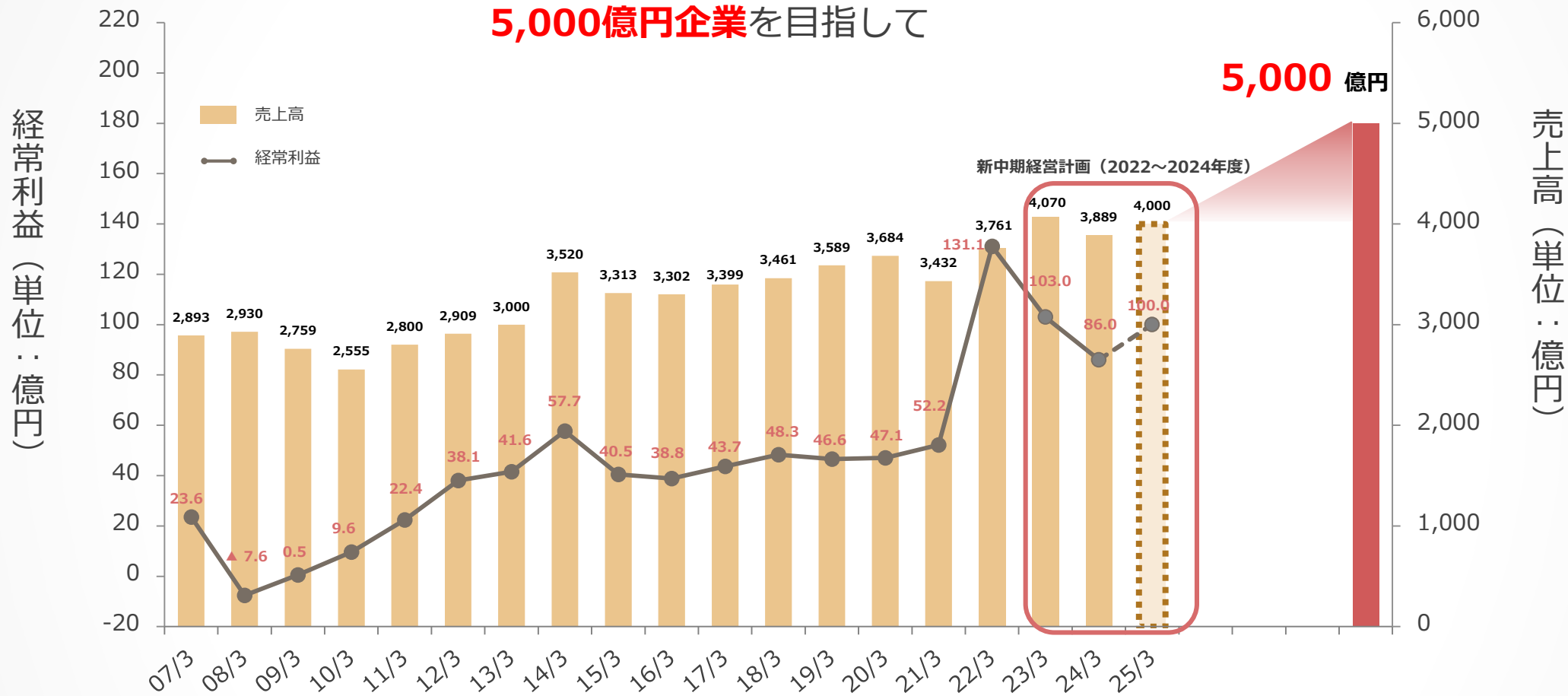
ご注文番号	ご担当者様	倉庫	配達方法	配達便	車種条件など
		ジャパン建材(株) 合板	物流配達	便設定なし	

【2】 【CW法】は「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」による合法伐採木材等であることを確認した商品。登録番号 JIA-CLW-I , II 18012号
 【FSC®】 【SGEC】 【PEFC】は森林認証材。認証番号 FSC:SGSHK-COC-007320 SGEC/PEFC:SGSJP-SGEC-COC-153
 【〇〇kg-CO2】は商品1単位あたりの炭素貯蔵量。詳細は弊社HPに記載。

【2】
送
り
状

Brand - New JKHD 2030

5,000億円企業を目指して

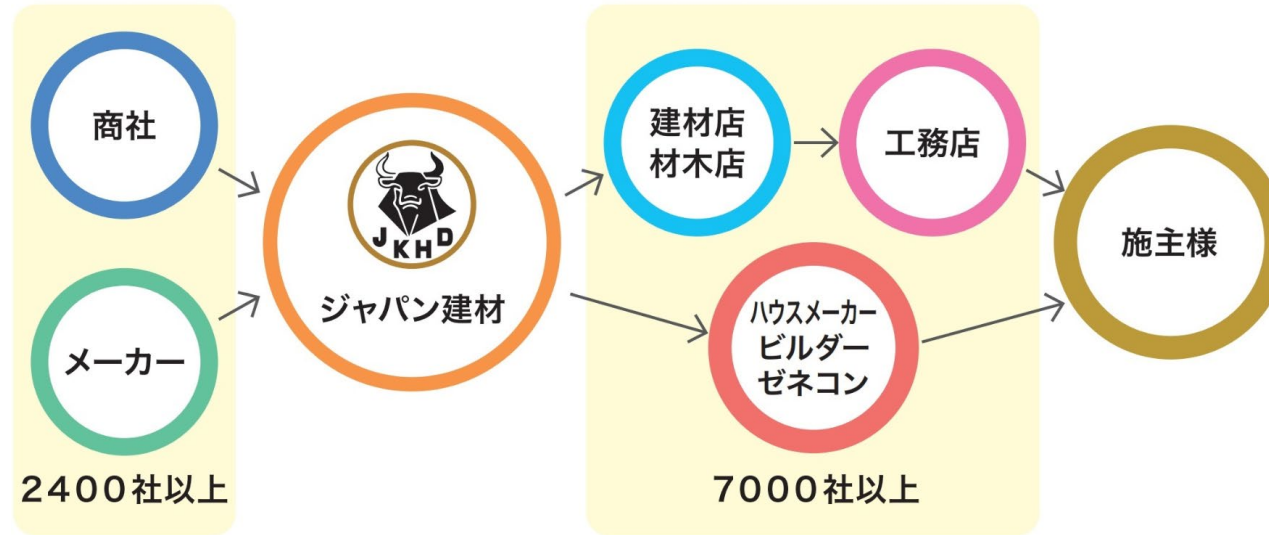


< 経営陣から投資家の皆様へ >

業界の変化に対応しつつ、企業価値の向上を目指します。
 創造性と挑戦心を持って、事業領域の拡大、深耕を進めていき、
 グループ企業の連携を深め、業界ダントツNO.1グループへと成長していきます。

補足資料

住まいづくりに必要とされる、さまざまな部材・資材の販売（卸売）を主な事業内容としています。



・素材

合板・木材・石膏ボード・断熱材

・外装・サッシ

外壁材・屋根材・サッシ・玄関ドア・エクステリア

・内装材

床材・建具・収納・階段

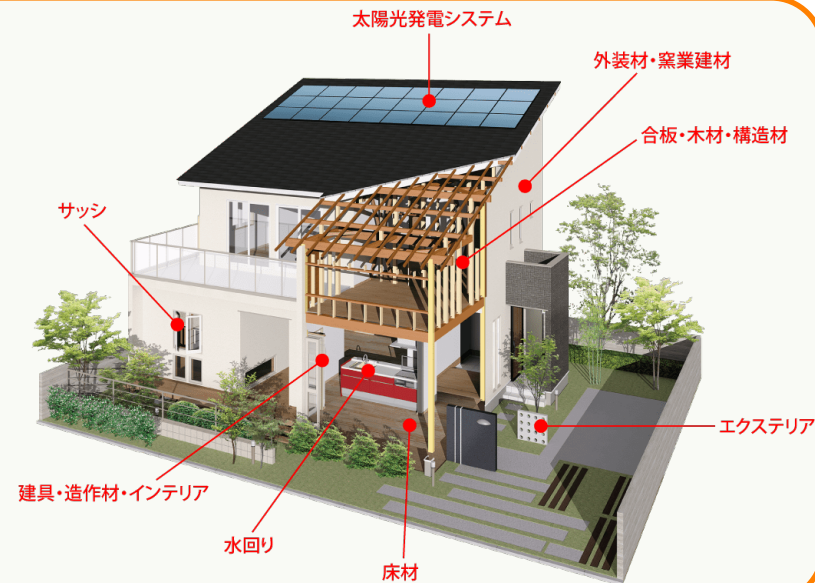
・水廻り

キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ

・省エネ機器

太陽光発電・蓄電池・HEMS・エコキュート

…etc.

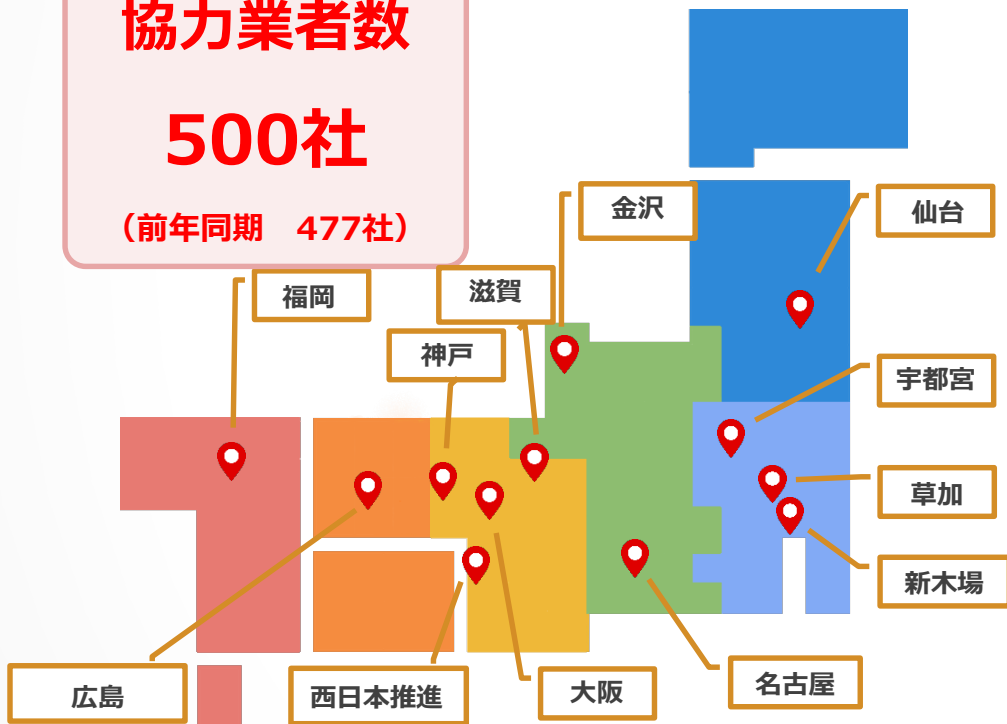


ジャパン建材の
強み

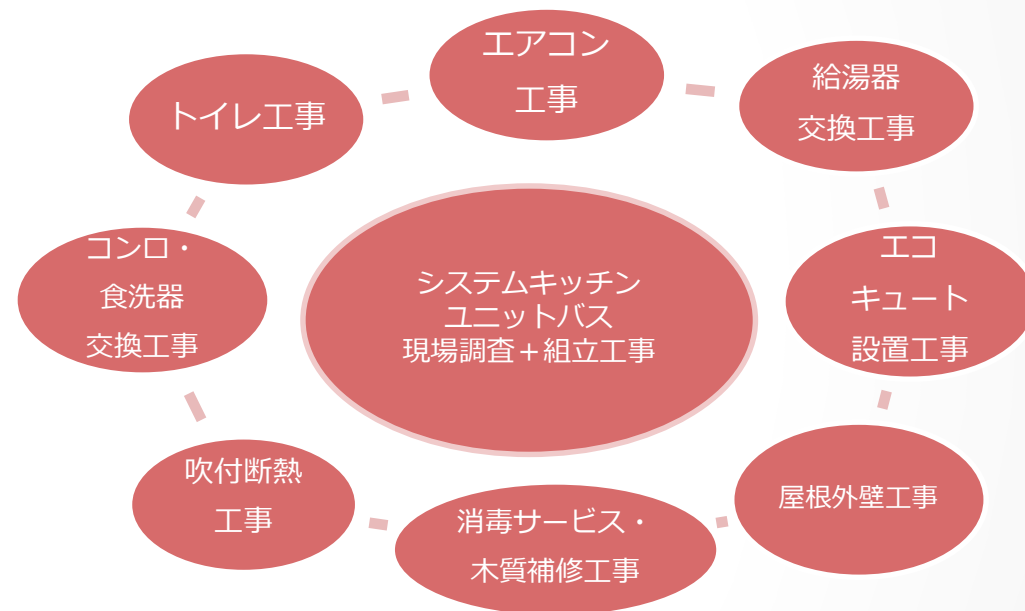
水廻りの施工品質の維持向上を図るとともに、水廻り以外の工事提案の強化および工事機能の向上を実現することで、企業価値を高め、競合他社と差別化を図ります。

施工ネットワークを構築

協力業者数
500社
(前年同期 477社)

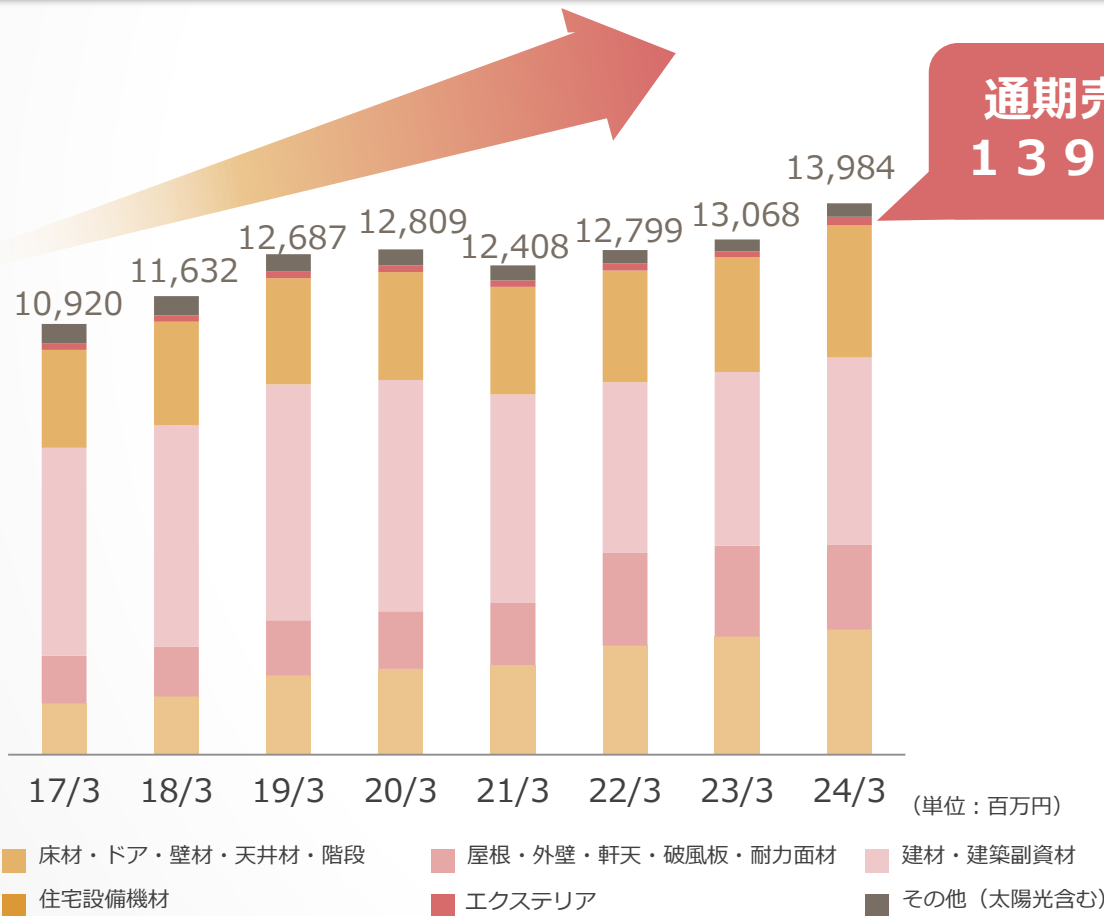


JKエンジニアリングは12拠点のネットワークで全国を網羅しています。



	売上 (千円)	依頼台数 (台)
2024年3月期	750,571	13,431
2023年3月期	711,327	13,036

Bullsの取り扱いカテゴリ数は約690になり、売上高は139億円を超えて右肩上がりに売上を伸ばしています。Bullsはウェルビーイング（健全で幸福な状態）の実現をこれからの住環境の大きなキーワードとしています。住宅性能を高める「快適で安全な住まいづくり」、そこに住まう方にとって「豊かさや幸せを享受できる住まいづくり」を両立させたいと考えています。私達はこれからも厳選した建築資材をご提供し、販売店様・工務店様と一緒に快適な住まいと豊かな暮らしの実現に挑戦してまいります。



グループスローガン
「森のめぐみをかたちに つなげる未来」

売上100億（※1）を目標とし、木造建築分野を広くカバーする当グループは、さまざまな規模の非住宅案件に注力しています。（※1 JK木造建築グループ 非住宅案件売上）

① ジャパン建材 久米南町舎



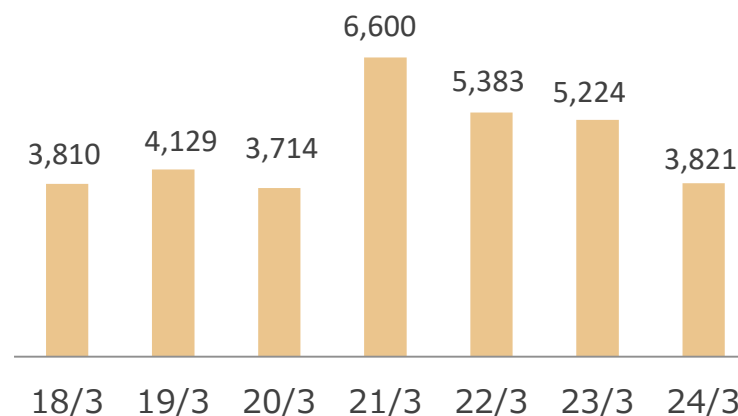
② キーテック 山形県立新庄病院



③ JK木造建築グループ 構成



④ JK木造建築グループ 非住宅案件売上

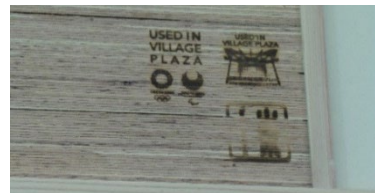


通期売上高
38億

(単位：百万円)

(株)キーテック 身延中学校

山梨県の身延中学校には県産材、東京五輪で利用したレガシー材を活用し、県内初の大型木造校舎となりました。

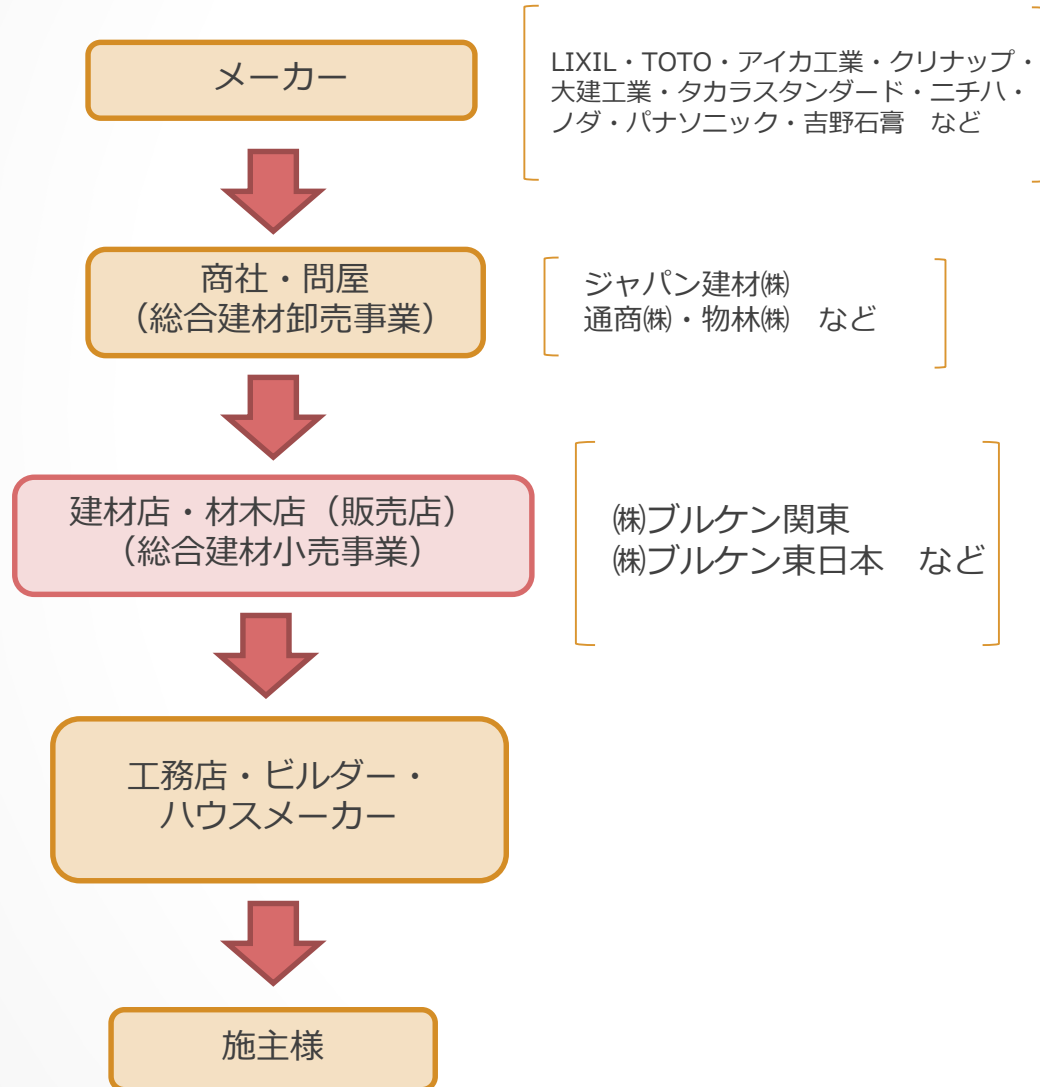


ティンバラム(株) 竹中育英会新学生寮

国産木材を多く使用し、建物全体に木の持つ柔らかさを活かした学生寮を2023年11月に竣工いたしました。



合板、合板二次、建築資材および住宅機器等の小売事業は、全国各地に地域密着型の販売店を有し、建築会社、工務店など現場の需要に迅速に対応いたします。



JKホールディングス(株)も構成事業者となり物林(株)が代表企業として管理・運営する『豊洲ぐるりパーク』ではマルシェやガーデンクラブ開催など、地域の人を呼び込むイベントを数多く実施しております。取り組みの一環として、眺望の良いふ頭先端部にはカフェ・レストランやバーベキュー施設、ドッグランがあり、豊洲駅付近にある豊洲公園では、2024年夏にブルーボトルコーヒーのカフェがオープンする予定です。

2022年から2回、ブルーボトルのコーヒートラックが豊洲公園にオープンした際は、1万人以上の方にご利用いただきました。



毎週開催の「トヨスノマルシェ」では地域の魅力を伝えるショップが多数出店しており、公園を訪れる方々で賑わっております。

JKHDグループの(株)ブルケン・ウエストが事務局となり、福岡県朝倉市にて地元工務店6社による地域活性化プロジェクトの第一弾である『第1期 よか良家ヴィレッジ』が2023年8月にグランドフィナーレを迎えました。

コンセプトを『よか人、よか家、よか仲間』とし、今後『第2期 よか良家ヴィレッジ』のオープンも予定しており、地産地消で地域活性化を促し、朝倉市の魅力をさらに発信していきます。

よか良家ヴィレッジ 感謝をこめて最後のイベント開催です!
グランドフィナーレ! 8/19(土)20(日)
 open:10:00 close:17:00 入場無料

暮らしをもっと楽しく快適にする家の展示場で、よか“もん”たくさんのマルシェを開催!!
 夏を遊びつくす!水を使った海賊ショーやDIY、飲食ブースも!暑い夏を家族で楽しむイベントです!

IF から屋フルハウス
 心奪われる日々を送る【から屋】

時川建設
 異世代、子育て世代に後継者がない【お針目の家が家】

REN-STYLE
 可もなく不可もなく住、嫌【お針目の家が家】

エステート工房
 遊びゴコロのかみ家開拓【FANPARK】

ナカガワホーム
 人と家との出会いで新しい価値を生み出す【TREE HOUSE】

想創舎 (かんせうか)
 家改一人ひとりの【かんせう】

よか良家スタンプラリー
 ももぎ&木工DIY

よか良家マルシェ

モデルハウスの購入もできます!!

Access
 福岡県朝倉市福岡67期
 マンション:094-22-3655
 営業時間:平日10:00~17:00(土曜・日曜・祭日)
 〒816-0001 朝倉市福岡67期

Information
 本朝倉市に於ける唯一の住宅展示場。本朝倉市に於ける唯一の住宅展示場。本朝倉市に於ける唯一の住宅展示場。

Contact
 0946-22-3655
<https://yokayoka-poom/>

よか良家ヴィレッジとは
 地元朝倉市におき、地元企業と連携した住宅展示場。本朝倉市に於ける唯一の住宅展示場。本朝倉市に於ける唯一の住宅展示場。



第1期 実績

来場組数 : 667組
 来場者数 : 1600名
 来場成約数 : 44棟
 売上高 : 208百万円

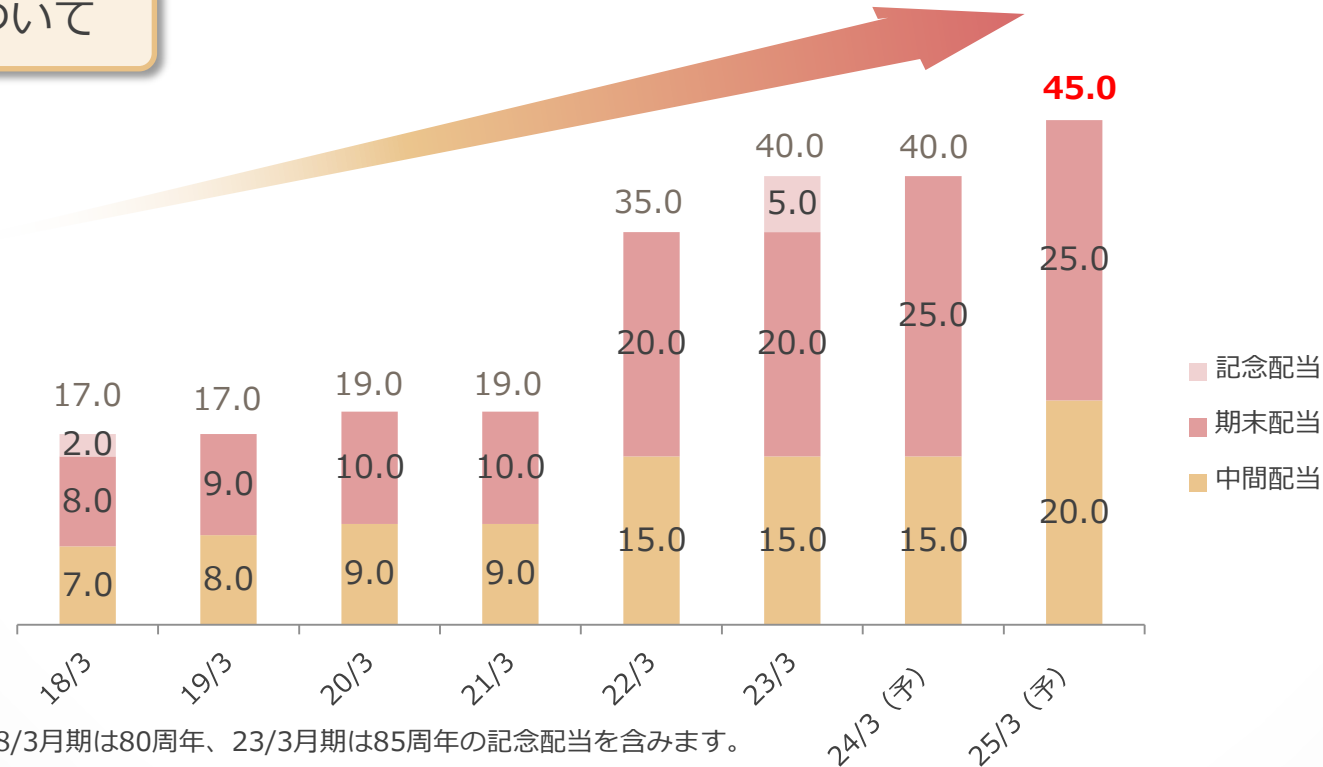
基本方針

- ・ 企業体質の強化
- ・ 内部留保の充実
- ・ 安定的かつ継続的な利益還元

最重要課題

M&Aや営業拠点の整備などの成長投資、有利子負債の削減等財務体質の充実強化。

配当について



※ 18/3月期は80周年、23/3月期は85周年の記念配当を含みます。



JKホールディングス株式会社